

1、幼稚園の教育目標

緑深い木々と、広い運動場、整った設備の中でいきいきとした心身の健康と体力増進を中心にし、ひとりひとりの個性を大切にし、諸能力を十分に発達させ、情操を豊かにし、人間形成の基礎を確立することを目標とする。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼児教育要領の改訂に伴い内容の理解を深め、職員一人ひとりが丁寧に子どもと向き合い、各年齢に応じた教育保育内容に取り組むとともに、運動場でのびのびと遊びや活動がおこなえるようにする。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由
幼稚園の教育課程の編成・実施や目標に基づいての計画性や保育教育のあり方	B	幼児教育要領の改訂に伴い、内容の理解が必要であるとともにそれに合わせた指導計画のねらい、各年齢ごとの教育保育内容に適した取り組みができるようにした。今後は更に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の理解を深め、具体的に実際の保育に取り組むようにする。
具体的な保育の在り方、幼児への対応や保育内容の職員の共通理解	B	子どもの健康や安全面に留意しながら、のびのびと運動遊びを行ううえで、運動カリキュラムを作成することで具体的な指導を共通理解のもとでできるようにした。カリキュラムの内容を次年度は内容をより簡潔にすることで、職員の共通理解もよりしやすくまた、子供たちにも伝わりやすくすることを目標とし取り組むようにする。
教師としての資質や能力 教職員間の相互理解	B	日々の保育で職員の共通理解をより深められるようにリーダー会議を持つようにした、また研修などの参加によりいろいろな保育に触れることで保育の質の向上に取り組むようにした。今後も昨年同様多くの研修に参加し園内研修の充実を図りたい。
保護者への対応	A	日頃から保護者とのコミュニケーションを丁寧にとり子どもの様子、細かな伝達などを伝えとるようにしている。また職員の共通理解が必要な事柄や内容によっては学園ではかり、その都度伝達しその後は職員全体で共有できるようにしている。
研修の取り組みについて	B	研修では自己課題を持ち、参加することでより自身の関心や保育への疑問解決などの課題が持てるようになった。また園内研修では職員同士で内容を共有することで日々の保育に生かせることができる課題がみつけれられるようになったので今後も更に積極的な研修の取り組みを続けるようにする。
安全面に配慮した環境づくりと地域の自然や社会との関わりや取り組み	A	安全面への配慮した取り組みや環境構成を整えること、また日々の安全点検の確認・励行を継続し行うようにする。また家庭訪問で各地域の様子を把握し、子ども達が生活し遊ぶ近隣の公園や小学校などを知るようにしている。また年長児は小学校と就学前に交流会を持つようにし、連携をとる機会をつくるようにしている。

◎評価結果の表示方法

- A 十分達成されている B 達成されている C 取り組まれているが、成果が十分でない
D 取り組みが不十分である

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	全体的にはおおむね取り組むことができています。新教育要領に伴い教育課程の編成、実施において今後も更に深い理解をすすめるとともに、実際の保育場面でより新しい教育・保育を目指しながら子ども達の心身の発達を十分に育めるように次年度も取り組んでいきたい。また運動遊びの取り組みでは更に年齢に応じた具体的な活動ができるようなカリキュラム作りをし、取り組むようにする。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
各年齢に合わせた環境構成を整える	新教育要領のより深い理解をすすめるとともに各年齢に応じた教育・保育内容に適したより具体的な環境構成を整えるようにする。
運動遊びの日常の中での具体的な取り組み	各年齢に応じた、日常の中での運動遊びをより具体化することにより、日々の保育で取り入れ運動遊びの活動がより取り組みやすくなることで、遊びの充実が更に図れるようにする。
教職員の資質向上	昨年度と同様、教職員が個々に目的意識を持ち、研修に積極的に参加することで資質向上を目指し、また職員間の日々の細かな伝達、会議、リーダー会議をよりわかりやすく丁寧に行うことで職員の共通理解を今年度同様さらに深めるようにする。

6、学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められている。

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。
